

秋田県立博物館・美郷町学友館共同展

菅江真澄と歩く美郷町

春雨のふる夜
梅の香る一つく
あやかし
さくらさくら
草花

真澄



平成25年

10月5日(土) ~ 11月24日(日)

◆主催 秋田県立博物館、美郷町教育委員会

秋田県指定文化財3点を含む
100点以上の資料を展示

- ◆開館時間 午前9時~午後7時 (入場は6時30分まで)
- ◆休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)
- ◆観覧料 一般300円 (美郷町民で身分証を提示した場合200円)、高校生以下無料
- ◆ギャラリートーク 10月20日(日)、11月3日(日) 午後2時~
秋田県立博物館 松山 修学芸主事

美郷町学友館

秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺122番地
Tel : 0187-84-4040 Fax : 0187-84-3763

(交通案内)

- 車 ◆秋田自動車道 大曲ICから国道13号を横手方面へ約20分
横手ICから国道13号を大曲方面へ約30分
- バス ◆JR大曲駅から約20分 JR飯詰駅から約10分
◆大曲バスターミナルから横手方面(六郷経由)行き
六郷上町下車 徒歩約10分



菅江真澄と歩く美郷町

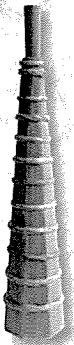
菅江真澄(1754?~1829)は、文政7年(1824)から本格的な地誌編纂に取り組みました。現在の美郷町の町域には文政10年から翌年にかけて滞在して、巡村調査をしています。美郷町には真澄の足跡を確認することができるのはもちろん、真澄の遺墨など実にたくさん関係資料があります。真澄の記録をもとに、美郷町を見つめ直していただきたいとの願いのもとに本展示を企画しました。郷土を見つめ直すことで、新たな発見があり、そこに暮らす意味が見出せるかもしれません。

習俗 六郷の小正月行事

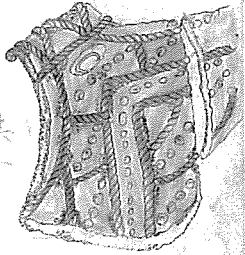


月の出羽路仙北郡十六

木貝



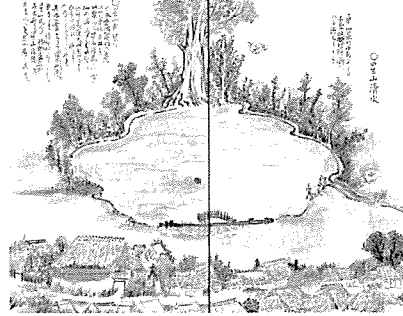
美郷町出土の縄文土器



土器 三内丸山(青森市)出土の縄文土器

栖家の山

樹木 星山清水のねずこ

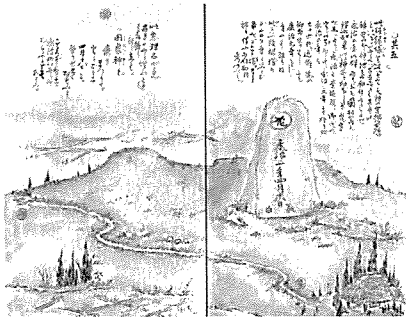


月の出羽路仙北郡二十

記録者としての真澄

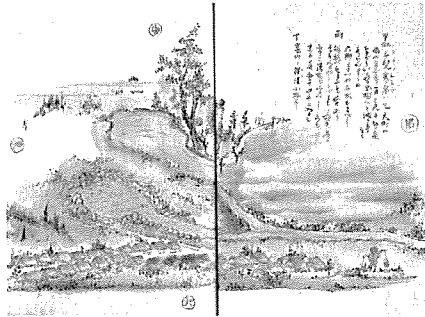
私たちが普段、当たり前のように見ているものに、三河生まれの真澄は、そのモノが持つ意味や良さなどに気づき、記録の細さと彩色された図絵にあります。(所蔵名のない図絵は、秋田県立博物館蔵写本です。)

板碑 永治二年の碑



月の出羽路仙北郡十四

清水 ニテコ清水



月の出羽路仙北郡十一

美郷町を記録する

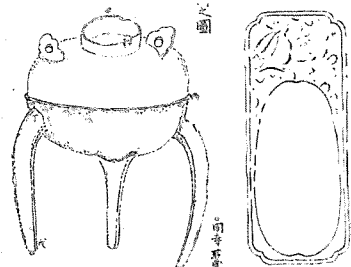
図絵に描かれた実物が現存するのが美郷町の特徴です。貴重な資料を紹介します。

真澄を伝える

真澄の記録が現在に伝わるようになったのは、美郷町に生まれた先人の業績があります。深澤多市(金沢東根出身)と栗林治郎作(六郷出身)です。二人の業績を実資料を交えて紹介します。



什物(美郷町・秋田諏訪宮蔵)

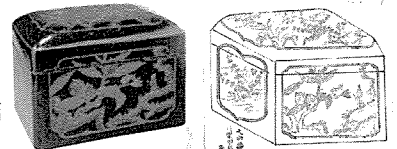


什物(美郷町・善証寺蔵)



『十曲湖』写本 印章に至るまで精緻に写すのが、栗林治郎作の特徴です。(美郷町学友館蔵)

秋田県指定文化財を展示



魚藻文沈金手箱 (秋田県立博物館蔵)

『新古祝儀品類之図』

(大館市立中央図書館蔵)



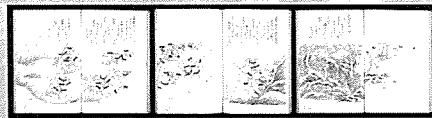
本堂城廻絵図(坂本東獄邸蔵)



パネルで見る真澄の記録



諏訪神社祭礼図(月の出羽路仙北郡十六)



後三年合戦絵詞(月の出羽路仙北郡十八)

並べてみて、拡大してみて、初めてわかることがあります。パネル展示には、一冊の資料を平面で見られるよさがあります。解説を交えて紹介します。真澄クイズにも挑戦!

展示資料協力者/秋田県立図書館、秋田県立近代美術館、大館市立中央図書館、横手市立増田図書館、佐藤養助商店(湯沢市)、秋田諏訪宮、善証寺、太桂寺、大阪昭夫、熊谷徳、小西栄之進、小西レイ子(以上、美郷町)、大友克己(横手市)、木村表装店(秋田市)(敬称略)
※展示への御協力ありがとうございます。